

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	桑野内地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県	450006	1	H23～	H23～
五ヶ瀬町	454435		H27	H26
活性化計画の区域				
宮崎県 西臼杵郡五ヶ瀬町 桑野内地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	2.6ha	2.6ha	100%	
定住人口の確保	10.0%	60.0%	600%	

(コメント)

耕作に欠かせない用排水路や農道において、当地区は、素掘り水路の漏水、未舗装による荷痛みや耕作機の乗入れなどに危険な農道であり維持管理にも労力や経費も掛かり営農に苦慮をしていた。今回の農業基盤整備により施設の向上が図られ、維持管理に係る労力・経費の節減につながり営農意欲も高まった。このため機能確保された農地面積が2.6haとなり目標を達成することができた。

また、定住人口の確保を計画目標として整備した営農飲雑施設については、長年苦慮していた水不足や降雨時の濁りが解消され、生活環境の改善が図られた事により、転入転出者の割合を50%で目標値を設定していたが、集落内の転入転出者も無く現状を維持することができ定住人口の確保の目標を達成することができた。

〈目標値〉 50.00% - 40.00% = 10.00%

〈達成値〉 100.00% - 40.00% = 60.00%

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
小規模農林地等保全整備	用排水路工L=142.0m 農道工L=160.0m (W=2.2~3.5m)		五ヶ瀬町
飲雑用水施設	配水池N=1基 減圧槽N=1基 配水管L=1,645m		
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
地元管理組合	平成25年度	平成26年度	平成26年12月8日
五ヶ瀬町	平成23年度	平成25年度	平成26年3月31日
事業の効果			
<p>棚田地域等の小規模な農地が点在する桑野内地区において、素掘りの用排水路や未舗装急勾配の農道は農地を保全する上で営農意欲の低下や維持管理費の増大など支障となっていた。</p> <p>本事業により用排水路・農道が整備され、地域の基幹産業である農業の生産基盤の改善が図られ、労務軽減や維持管理費のコスト縮減に繋がり、農業従事者の生産意欲が向上し、地域の活性化を図ることができた。</p> <p>鳥越集落の営農飲雑用水において、集落の現状は湧き水から直接各戸に飲用水を引いており水源の水量も低下していた。また、施設の老朽化や水源の未整備などにより降雨時には濁水が流入するなど、不衛生の状況で利用していた。</p> <p>本事業の営農飲雑用水施設整備により、安心して安全な営農飲雑用水の確保ができた事と、集落が1つの水道でつながり、集落の団結力・地域力が向上し集落の活性化が図られ、若者の定住する環境づくりの基盤が構築された。</p>			

3 総合評価

<p>(コメント)</p> <p>典型的な中山間地域である当地域は、地形の厳しい農地条件のなか営農に取り組んできた。当地区も過疎化や高齢化・後継者不足など、農家が抱えている不安や問題に該当する地域である。用排水路や農道などの農業用施設においても、施設の未整備や老朽化が進み維持管理費と労力が嵩み耕作放棄地の拡大の要因となり、営農意欲の低下が伺えた。</p> <p>今回の事業で素掘り用水路を二次製品水路（U型側溝）への整備や、急勾配・未舗装の農道を舗装（As・Co舗装）したことにより、安定した用水の確保と通行に安全な農道が整備され、維持管理費と労力の大幅な軽減が図ることができ営農条件が大きく改善された。その結果、衰退傾向であった営農意欲が向上し、担い手の育成や農地の保全、地域の活性化も図られた。</p> <p>また、営農飲雑用水で枯渇による水不足や雨季の濁水で苦慮していた鳥越集落では、事業の実施により安定した水量と安全で安心な生活水が確保でき、営農においても野菜の洗浄や農機具の洗浄など効率化が図られ、集落の生活環境の向上が図られると伴に水道の一本化により地域の連帯性が向上し地域の活性化が図られた。</p>
--

4 第三者の意見

(コメント)

本地区は、用排水路が土水路であり安定した用水の確保が困難である。また、農道も未舗装であり、出荷時の荷痛みや農道の小規模な路肩崩壊などが発生し、農地の保全管理や施設の維持管理に支障をきたしている。また、鳥越集落は、湧水を直接農家に引き込み、営農用水や生活用水の利用を行っているが、取水口や配水池が未整備のために、濁水の流入や水量の確保に苦慮している。そのため、若い世代が地域外に流出し、地域活性化に支障をきたしている。

今回の事業で用排水路の整備や農道整備を実施したことにより、安定した用水の確保が可能となり、作業条件が格段に向上したことで営農条件が改善され、営農意欲も向上した。これにより、定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保が目標通り達成されたことは評価できる。また、鳥越集落の事業の実施により安定した生活用水の確保が可能となり、生活環境が著しく改善された。これによって定住人口の確保の目標を達成できたことは高く評価される。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)